

単元名	器械・器具を使つての運動遊び(マットを使った運動遊び)	配当時間	6時間
単元の目標	(1) いろいろな方向への転がり，手で支えての体の保持や回転をすることができる。 (2) マットを用いた簡単な遊び方を工夫するとともに，考えたことを友達に伝えることができる。 (3) 運動遊びに進んで取り組み，順番やきまりを守り，誰とでも仲よく運動をしたり，場や器械・器具の安全に気を付けたりしようとする。		

お話マットの展開例

01100203_001

【準備等】マット，平均台，術の例を示した絵，学習カード，CDプレーヤーなど

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 お話マットの学習のねらいと内容を理解し，学習の進め方について見通しをもつ。 ○学習のねらいや進め方を知る。 ★お話に合わせて動きを工夫し，お話マットを楽しもう。</p> <p>○学習カードの使い方を知る。 ○マナーや安全な運動の仕方について知る。 ○グループを編成し，役割を分担する。 ○2人1組でストレッチをする。</p> <p>○いろいろな動物歩きをする。</p> <p>○マットでできるいろいろな運動を行う。 ・ゆりかご，前転がり，後ろ転がりなど</p> <p>3～5 「動物歩き」をもとにしたお話マットをつくる。 ○2人1組でストレッチをする。 ○太鼓の音や音楽に合わせて歩いたり，走ったり，スキップをしたりしながら，動物歩きや易しい運動を行う。 ・うさぎさん，かえるの足打ち，ブリッジ，シャクトリムシ，壁逆立ちなど ○お話マットの練習をする。 第3時：モデル① 「くまさんが，ノッシノッシノッシ，石につまずき，ころんだよ。でも大丈夫，ハイポーズ。」 第4時：モデル② 「うさぎが，ピョンピョン，はねました。トンクルリンパッ，ハイポーズ。」 第5時：モデル③ 「くまさんが，やってきて，ころんだよ。川をとびこえハイポーズ。」 ○お話マットの動物歩きやポーズの部分をグループで話し合っ，お話マットをつくる。 ○グループで考えたお話マットの練習をする。</p> <p>6 お話マットの発表をする。 ○発表をする。 ○反省し，まとめをする。 ・できばえ，グループの協力など ○単元のまとめをする。</p>	<p>・「くまさんが石につまずきころんだよ。でも大丈夫！ハイポーズ（3秒間静止）」などのお話に合わせて，動物歩きの技と前転がりなどの単技を組み合わせてマット遊びをすることを知らせ，意欲を高める。 ・動物歩きや単技を例示しておく。</p> <p>・4～6名程度で1グループを編成する。 ・オルゴール演奏のゆったりした曲などをBGMにするとよい。 ・「強かったら言ってね」「できるだけ力を抜いてね」などの言葉かけをさせながら，互いの体の状態に気付き合うように行わせる。 ・よい動きをしている児童を褒め，その動きを紹介する。</p> <p>・マット遊びの感覚づくりと体ほぐしの運動を兼ねて行う。</p> <p>・グループごとに行い，お互いに補助させたりアドバイスさせたりする。 ・始めと終わりの合図をきちんとするだけでマット運動の表現性が広がる。 ・マットの上へ乗り，片手を上げて「始めます」，両手を上げて「終わります」の動作を大事にする。 【評】お話マットの練習を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・動きが思い付かない場合には学習カードから技を選ばせる。 【評】お話マットをつくって練習する活動を通して，「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】お話マットの発表を通して，「知識・技能」を評価する。 ・感想の発表や学習カードによる自己評価などをさせる。</p>

【 備 考 】

マット遊びの面白さは，単なる技の習得にあるのではなく，回転したり，ジャンプしたり，バランス技を使つて静止したりというマット上の空間と体を使つてどう表現するかにある。また，低学年では，技自体を学習するというよりも，回転する運動感覚や逆さになる運動感覚に慣れることが重要である。

お話マットの展開例では，動物歩きの技と前転がりなどの単技を組み合わせたお話マットを行う。このお話の中では，技が一連の流れの中に位置し，スピードの変化や技の大小などを楽しむことができる。

<運動遊びが苦手な児童への配慮の例>

・体を丸めて揺れるゆりかごに取り組んだり，傾斜のある場で勢いよく転がるように取り組んだりして，転がるための体の動かし方が身に付くように練習の仕方や場を設定する。

・手や足を移動する場所や目線の先にマークを置くなどして，支持で移動できる体の動かし方が身に付くように教具や場を設定する。